

みなみかぜ

M I N A M I K A Z E



Vol. 43

2020 Jan.

発行：黎明会 南台病院
東京都小平市小川町 1-485
TEL：042-341-7111 (代)
<http://www.minamidaihp.jp>

院長年頭挨拶



下山 病院長

明けましておめでとうございます。2020年（令和2年）の年頭にあたり、一言ご挨拶させていただきます。

今年は昨年からの令和という新しい年号のもと、東京オリンピックが行われることになっており、例年に増して大変あわただしい年になることが予想されています。そのなかで、南台病院でも昨年11月より電子カルテと会計システムの電子化を行いました。導入したばかりで職員が慣れていないことなどから、皆様には待ち時間などが長くなりご迷惑をおかけしていると思っておりますが、今しばらくはご理解をお願いします。また病棟体制も一部変更し、地域包括ケア病棟を設けました。今後さらに進む超高齢化時代に地域医療中心の病棟としていこうと考えており、在宅療養中にレスパイト入院なども積極的に受け入れていきますので是非ご利用ください。当院や関連施設の利用などにつきましては、外来看護師もしくは医療相談員などにご相談ください。また無料健康相談も行っていますので是非ご利用ください。

今年も南台病院を引き続きよろしく申し上げます。

『無料なんでも健康相談』のご案内

日時：毎週水曜日 PM3:00~3:30

場所：南台病院 外来診察室

実施日	担当	実施日	担当
1月8日（水）	勝見副院長	2月5日（水）	勝見副院長
1月15日（水）	放射線科	2月12日（水）	リハビリ科
1月22日（水）	看護部	2月19日（水）	看護部
1月29日（水）	健康管理室	2月26日（水）	薬剤科

※ 事前の予約は不要です。受付窓口、又は外来看護師まで、お気軽に声をお掛け下さい。

※ 都合により、担当が変更になる場合があります。

当院では土曜日終日外来診療を行っております。ご利用ください。

診療受付時間

月曜～土曜 AM8:30～11:30 PM1:00～4:00

【漢方薬の副作用】

薬剤科

時々、「漢方薬は副作用が無いので・・・。」と聞くことがあります。漢方薬もお薬です。今回、漢方薬の副作用を簡単にまとめてみました。大きく分けると3点です。

- ① 誤治（ごじ）・・・ 患者さんが合わない漢方薬を服用することで生じる副作用。漢方薬が合わない場合は、気分不快、食欲不振、不眠、ほてり、発汗、めまい、頻尿、嘔気、嘔吐などの症状がみられます。
- ② 瞑眩（めんげん）・・・ 難治疾患が治癒する過程で見られる好転反応としての副作用で、一過性に起こります。症状は、下痢、嘔吐、頭痛、発熱、意識消失、下血、昏睡など激しい症状で、きわめて稀な現象。
- ③ 真の副作用・・・ 体表面や体内の過敏反応、心血管系の反応。

カンゾウ



1) 偽アルドステロン症：「カンゾウ」を含む漢方薬

血圧上昇、低カリウム血症、ナトリウムや体液の貯留がみられる「偽アルドステロン症」

がおこることがあります。「顔や手足のむくみ」「尿量の減少や体重増加」「脱力感や筋力の低下」「頭痛、のぼせ、肩こり」などの症状に注意。

(芍薬甘草湯、小青竜湯など)

オウゴン



2) 間質性肺炎：「オウゴン」を含む漢方薬

「空咳（痰のない咳）」、「発熱」、「労作時の息切れ」などの3主徴が見られます。「間質性肺炎」が進行すると呼吸不全により死亡することもあります。

(小柴胡湯、黄連解毒湯、柴朴湯、柴苓湯など)

3) 薬剤性肝障害：「オウゴン」を含む漢方薬

マオウ

全身倦怠感、発熱、悪心・嘔吐、食欲不振、掻痒感、黄疸、発疹などがみられ、肝機能障害が発見されることがあります。血液検査で肝機能をチェックすることが必要です。

フシ

4) 心血管系症状：「マオウ」「フシ」を含む漢方薬

「麻黄」を含む漢方薬では、不眠、発汗過多、頻脈、食欲不振、悪心、排尿困難などの症状、「附子」を含む漢方薬では、動悸、のぼせ、悪心、嘔気、嘔吐、呼吸困難などの症状が現れることがあります。

トウキ

(マオウ：小青竜湯、葛根湯など) (フシ：八味地黄丸、牛車腎気丸など)

5) 薬疹：「ケイヒ」「トウキ」「オウゴン」を含む漢方薬

皮膚や粘膜の過敏反応で、発疹、皮膚の発赤、掻痒などを症状の薬疹が見られることがあり、重症型として、稀に眼や口などの粘膜に水疱やびらんを呈する「スティーブンス・ジョンソン症候群」、全身の皮膚剥離を呈する「中毒性表皮壊死症」が起こることがあります。

ケイヒ



(ケイヒ：葛根湯、五苓散など) (トウキ：当帰芍薬散など)

